

# 旭公民館だより

発行 令和8年2月  
旭公民館  
館長 伊吹 公雄  
電話 45-5903  
FAX 45-5903

**古着回収にご協力ください!**

**= 地域から広がるやさしい循環 =**

**たんぽぽクラブ × 旭公民館**



子育て支援サークル「たんぽぽクラブ」と旭公民館では、地域のみなさんとともに、古着回収活動に取り組みます。

この活動は、不要になった衣類を回収し、再利用・再資源化することで、環境保全や社会貢献につなげるものです。

回収された古着は、「古着 de ワクチン」で知られる日本リユースシステム株式会社を通じて、国内外で役立てられます。

この仕組みでは、回収された衣類が開発途上国で再利用されるだけでなく、回収キット1口につき10人分のポリオワクチンが寄付されます。さらに、衣類の仕分けや発送作業には障がいのある方の就労支援施設が関わっており、国内の雇用支援にもつながっています。

つまり、みなさんのご協力が、

- ① 環境への配慮 (リユース・リサイクル)
- ② 世界の子どもたちへのワクチン支援
- ③ 国内外の雇用支援

という、三つの社会貢献につながるのです。

ご家庭で眠っている衣類がありましたら、ぜひこの機会にご提供ください。地域のかで、未来の笑顔を育てましょう!



## ポリオワクチンって?

・ポリオ(急性灰白髄炎)は、ウイルスによって起こる感染症で、重症化すると手足のまひなどの後遺症が残ることもあります。

・日本では根絶されていますが、世界にはまだ感染リスクのある地域があります。

・ワクチン接種によって、子どもたちの命と未来を守ることができます。

(裏面へ)

**【回収期間】 3月17日(火)~3月19日(木)**

**【回収場所】 旭公民館 玄関ホール**

**【回収できるもの】**

- ・大人・子ども用の衣類(洗濯済みのもの)
- ・帽子、バッグ、ベルト、ネクタイ、マフラー、靴、手袋
- アクセサリ(ネックレス・ブレスレット・イヤリング)など

**【回収できないもの】**

- ・下着類(肌着・靴下・ストッキングなど)
- ・制服、作業着、着物、布団、毛布、枕
- ・濡れているもの、汚れや破れのひどいもの

※くわしくは旭公民館までお問い合わせください。



地域・学校・家庭がともに子どもたちの未来を考える教育講演会が2/6（金）旭小学校で開催されました。講演の概要を紹介します。

今回のテーマは「コミュニティ・スクール（CS）」。「名前」は広く知られるようになりましたが、その役割や意味はまだ十分に理解されていない部分もあります。

講演ではまず、市内で進められているコミュニティ・スクールの取り組みを紹介する中で、参加者同士が「どう感じたか」を語り合うと

ころから始まりました。地域の大人、学校の先生、保護者がそれぞれの視点で意見を交わすことで、子どもを支える視点の多様さに気づく時間となりました。

子どもたちがこれからの時代を生き抜くために必要な力を育むには、学校だけでなく、地域の大人や家庭が同じ方向を向き、子どもたちを支えていくことが欠かせません。

そのために、コミュニティ・スクールは多くの人が出会い、語り合い、つながるための場であると説明されました。

また、コミュニティ・スクールの役割として、学校長の教育方針を承認することが挙げられますが、これは単なる手続きではありません。「どんな子どもに育ててほしいか」を地域・学校・家庭が共有し、未来をともにつくるための大切な対話の機会です。

そして講演の結びとして、次のことが強調されました。

コミュニティ・スクールを導入すること自体が目的ではない。

その仕組みを生かして、大人や学校、地域が変わっていくこと、これからの社会を担う子どもたちが「真」の生きる力を身に付けること、そして誰もが持続的な幸せを感じられる社会を「当事者」として創ること。

これらを実現することが、コミュニティ・スクール導入の目的＝本質である。

今回の講演会は、コミュニティ・スクールが地域の未来を拓く力を持つことを、あらためて確かめる機会となりました。

### 「地域に笑顔をお届けくださった佐藤茂夫さんへ」

旭寄席の実行委員として立ち上げの時から中心となって支えてくださり、地域文化の発展に大きく貢献してこられた 佐藤茂夫さん（岡谷町）が、1月30日にご逝去されました。

佐藤さんは、旭寄席の企画・運営に尽力され、地域のみなさんが笑いと交流を楽しめる場づくりに深く関わってこられました。その温かいお人柄と行動力は、多くの方々に親しまれ、地域の大切な支えとなっていました。

ここに、佐藤さんのこれまでのご功績に深く感謝申し上げるとともに、心より哀悼の意を表します。

佐藤さんが残してくださった思いと歩みを大切にしながら、地域の文化活動をこれからも受け継いでまいります。

